新技術社会実装支援プログラム 認定申請にかかる事業計画書

大阪府知事 様

所在地
名称
代表者名

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

1 支援プログラム対象事業区分（複数選択可）

申請する支援プログラム対象事業に○を記入（複数選択可）

- (1) 実証実験支援
- (2) マッチング・共創機会の提供
- (3) 伴走支援
- (4) 施設運営

2 実施体制

法人の概要	名称			
	所在地			
	担当者役職・氏名			
	ホームページURL			
	電話／FAX		E-mail	
	資本金	円	従業員数	人
	事業内容 (2行程度)			

3 計画概要

(1) 支援プログラム名称	
(2) 支援プログラム実施期間	年 月 日から 年 月 日まで ※事業開始日はイノベーション創出基金事業補助金の交付決定日以降とします。
(3) 支援プログラムの概要	※複数の支援プログラム対象事業を選択した場合は、それぞれの対象事業ごとに記載してください。

<p>(4) 支援プログラムの内容と目標等</p>	<p>① 新技術等の社会実装について現状と課題の把握（10行程度） ※スタートアップ等がもつ新技術等の社会実装にあたっての課題を具体的に記載してください。</p> <p>② 支援プログラムの内容と目標 ※①も踏まえ、支援プログラムの<u>内容と目標</u>について記載してください。内容については、支援プログラムを実施するにあたり、自らが持つ企画力やネットワーク等の強みを記載してください。目標については、成果目標を記載してください。（数値目標がある場合には必ず記載してください。） ※複数の支援プログラム対象事業を選択した場合は、それぞれの支援プログラム対象事業区分ごとに記載してください。なお、複数事業を実施することによる相乗効果等もある場合には記載してください。 ※複数年にわたる支援プログラムを計画されている場合は、当該事業計画をご提出ください（任意の資料で結構です）。その場合は2年目以降の内容・目標についてもご記載ください。審査の参考資料とします。 ただし、支援プログラムの認定の対象は、令和7年度分の計画のみとなり、令和8年度以降の計画については、認定するものではありません。</p>
<p>(5) これまでの取組みの概要</p>	<p>これまでの取組みの概要やその実績について記載してください。</p>

(6) 支援プログラムの実施体制等

本支援プログラムを実施するにあたっての申請者の強み(ネットワーク、主催イベントの集客等の実績、スタートアップの伴走支援等類似の事業実績、専門知識への精通や豊富な経験等を有するスタッフの有無など)、支援プログラムを確実に効果的に実施するための事業実施体制を記載してください。
 その他、支援プログラムを効果的・効率的に実施するためのノウハウ等について記載してください。

(7) スケジュール

開始から終了までの取組みスケジュールを記載してください。取組み項目について簡潔に記載してください。
 ※複数年にわたる事業計画を提出される場合は、令和8年度以降のスケジュールもご記載ください(令和8年度以降の様式は問いません)。

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月

項目 \ 月	11月	12月	1月	2月	3月

4 経費配分案

支援プログラム対象 事業区分	経費区分	支援プログラムに要する経費	支援プログラム 申請額（単位：円）

5 最小実行金額

（単位：円）

最小実行金額	
--------	--

（内訳）

支援プログラム対象 事業区分	経費区分	支援プログラムに要する経費	支援プログラム 申請額（単位：円）